

## 揖斐農林事務所の普及活動状況 令和6年9月30日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■指導農業士 経営訪問研修の開催

9月17日に揖斐地区指導農業士会が、会員の経営を学び合うための研修を行った。会員以外に青年農業士や新規就農者の参加を呼びかけ、25名が参加した。

今回は池田町で茶の経営を行う指導農業士の茶工場と美濃西部製茶組合の工場を訪問し、荒茶加工から仕上げ加工までの一連の工程とGAPの取り組みを学んだ。

その後、ブドウ栽培を開始した企業参入の圃場を視察し情報収集を行った。

農業普及課では引き続き指導農業士の活動を支援する。



【研修会の様子】

#### ■アスパラガス 第3回帰農塾の開催

9月21日にJAいび川担い手サポートセンターでアスパラガス帰農塾を開催し、受講生7名が参加した。帰農塾は揖斐アスパラガス部会、JAいび川、農業普及課が連携し、新規部会加入者の確保を目的に年4回の講座を行っている。

今回は、2年目以降の栽培管理（収穫調整、立茎、温度管理、灌水施肥管理）の講義を行った。

農業普及課は、引き続き講師として、アスパラガスの生産技術について指導する。



【講義の様子】

### ぎふ農畜水産物のブランド展開

#### ■かき 西村早生出荷目揃え会の開催

9月6日に、大野町かき振興会が「西村早生」出荷目揃え会を開催した。「西村早生」は早生品種で一番早く出荷する柿品種で、今年度は43名の生産者が出荷を行う。

目揃え会では、出荷規格などの注意喚起と良品質な柿の出荷に向けて生産者同士で確認した。

目揃え会終了後、農業普及課は、生育状況、病虫害防除の情報提供を行い、栽培管理について指導した。

今年の西村早生の生育について、果実肥大はやや小ぶり、着色は平年に比べやや遅い、甘果率は平年と比べ高いとなっている。



【目揃え会の様子】

## ■水稲 水稲種子ほ場審査を実施

9月26日に大野町の水稲(品種:ハツシモ岐阜SL)種子ほ場で、糊熟期ほ場審査を行った。審査の結果、生育と種子の成熟状況は概ね順調であった。今後は収穫後に生産物審査(発芽試験)を経て、来年作の種子として利用する予定である。水稲種子は大野町採種圃生産組合が8haで生産しており、農業普及課では引き続き安定生産に向けた栽培管理を支援する。



【ほ場審査の様子】

## ■加工業務用キャベツ 全域で生育状況を確認

揖斐管内では、加工業務用キャベツの栽培に取り組んでおり、約7haの作付けを予定している。

9月24日にJA全農岐阜、JAいび川、農業普及課が連携し、現地巡回を実施し、生育状況について確認した。

生育は、平年より気温が高めに推移しているため、ハスモンヨトウが多い傾向となっており、防除の呼びかけを行った。

農業普及課は、引き続き定期的に現地巡回を実施し、関係機関で情報共有を行い、出荷計画に基づいた栽培管理を支援する。



【キャベツの生育調査】

## ■いちご データ駆動型農業の実践に向けて

岐阜県では、令和5年度から県内4地域のいちご産地で環境測定装置を活用したデータ駆動型農業の実践・展開支援事業に取り組み、今年度で2年目となる。揖斐管内では、いちご生産者3名がこの事業に参加している。

9月30日に環境測定装置(温度、湿度、日照、炭酸ガス濃度等)の計測を開始した。農業普及課は、ハウス環境のデータを確認するとともに、生育調査を実施しながら収量増加に向けてデータ収集や分析を行う。



【設置の様子】

## ■いちご いちごシーズン開始に向けて

いちごの適期定植に向けて、定植時期判断のため、農業普及課ではいちご花芽検鏡を9月5日~30日に実施した。今年度の花芽分化の平均は9月19日と昨年より1日早い結果となった。

また、9月13日にJAいび川担い手サポートセンターにて、花芽検鏡結果及び定植前後の管理についての研修会を実施した。

これからいちご栽培が本格化するため、農業普及課は、安定生産にむけて技術指導を行う。



【花芽検鏡の様子】